

=====

ESET Cyber Security v7.4.1600.0 リリースノート

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

=====

■はじめに

キヤノンマーケティングジャパン製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
このリリースノートには、ESET Cyber Security（以後、本製品と記載）を正しく
利用いただくための情報が記載されています。
本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- ・本製品は、Intel 製 CPU および Apple M1、M2 と M3 チップを搭載した機器で動作いたします。
- ・本製品をインストールする前に、すべてのプログラムを必ず終了してください。
- ・本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていないことを確認してください。本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてください。
- ・本製品をインストールする場合は、管理者権限を持つユーザーでインストールしてください。

■ESET Cyber Security v6.x からのバージョンアップについて

- ・ESET Cyber Security v6.x から v 7.4.1600 へのバージョンアップが完了した後、手動で「ESET Real-time File System Protection」にフルディスクアクセスの権限を付与する必要があります。
- ・v6.x からバージョンアップすると本バージョンで実装されている機能設定のみが引き継がれます。未実装の機能の設定は、以下のパス上に保存されます。
/Library/Application Support/ESET/Security/Backup/ConfigurationV6
この設定は、現在未実装の機能が実装された場合に、その設定を引き継ぐために使用されます。

■既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。

これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。

最新の情報につきましては弊社製品ホームページの Q&A をご確認ください。

□電子メールクライアント保護の不具合

IMAP プロトコルで受信されたメールに添付されたマルウェアが電子メールクライアント保護で、検知できません。

□Web アクセス保護の通知の不具合

Web アクセス保護の URL アドレス管理で「適応時に通知」を有効にしても、適用時に通知されません。

□リムーバブルメディア上のマルウェア駆除の不具合

リムーバブルメディア内のマルウェアが検知され、駆除するとマルウェア本体は削除されますが、空のファイルが削除されずに残ります。

■変更履歴

□v7.4.1600 からの変更点

- Apple M3 チップが対応しました。(2024 年 2 月 13 日追記)
- Apple M1 と M2 チップにネイティブ対応しました。(Rosetta 2 が必要なくなりました。)
- コンピューターの検査ログの詳細から「未検査」の詳細が確認できるようになりました。
- 製品のバージョンを自動でアップグレードすることが可能になりました。
※自動アップデートは、v7.x 以上のバージョンから最新バージョンへの自動アップグレードになるため、v6.x からのアップグレードは、手動で行う必要があります。
- インストーラが多言語対応しました。OS の言語設定に従い、インストールする言語が自動的に選択されます。
※日本でのサポートは、日本語のみになります。
- GUI は、ダークモードを基調としたデザインに変更されました。
- パフォーマンス、安定性、全般的な製品のセキュリティが向上しました、

□v6.11.404 からの変更点

- ・ macOS Ventura 13 に対応しました。
- ・ 一部の不具合が改修されました。

□v6.11.100 からの変更点

- ・ Apple M2 チップへの対応
- ・ インストーラの証明書が更新されました。

□v6.11.2.0 からの変更点

- ・ macOS Monterey 12 に対応しました。
- ・ Mac 向けプログラムのサービス停止に関する脆弱性が修正しました。

■製品情報

本製品に関する情報は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/>

ESET 製品 Q&A ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/support/>